

**令和3年度（2021） 特定非営利活動法人そよかぜねっと
事業報告**

1. 理事会・通常総会開催

- (1) 第1回理事会(6/1) 令和2年事業報告・令和2年度決算報告・監事監査報告・令和3年度事業計画(案)・収支予算案・職員昇給額の検討について・通常総会について
- (2) 通常総会(6/21) 令和2年度事業・会計報告、監査報告、令和3年度事業計画・予算報告
- (3) 第2回理事会(11/18) 帳簿外金の取扱いについて・ハラスメント防止規定について・事業継続計画(自然災害・感染症)について・虐待防止委員会の設置について
- (4) 第3回理事会(3/16) 令和4年度事業計画(案)・運営規定追加事項について・福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金について

2. 運営状況

【就労継続支援B型事業】

(1) 利用者数

1日平均利用者数：18.2人(2年度：17.0人)

利用者延人数：4,320人(2年度：4,156人)

(2) 開所日数

238日(2年度：245日)

(3) 就労をめざすための場づくり

昨年度は、令和2年度から継続したコロナ禍の中、実習環境に限りがあり就労に向けた外部での活動の場を作ることが困難だった。しかし、施設外就労は新たに2か所(イオンアグリ、ハヤブサ)増え、レーン作業・清掃作業・事務軽作業・農業作業・梱包作業など様々な種類の作業に参加することにより、個々の特性に合わせた仕事の見極めや、TPOに合わせた準備など、状況に合わせた意識の変化へつながった。施設外作業では、出来高により収益が変わることを職員・施設外参加利用者全員が意識し、どのように動けば効率や収益が上がるかなど積極的に考え意見が出るなど、良い刺激となっている。年明けからはハローワークからの求人案内も出始め、見学や実習、面接への同行も行った。

また、「仕事体験」を積極的に活用し、就労のイメージづくりを行った。そのことにより、施設外作業に消極的だった方が前向きに捉えるようになる効果が得られた。

(4) 安心して過ごすための場づくり

65歳を近く迎える利用者、65歳を迎えている利用者に対しては、介護保険移行の説明、介護区分認定の説明、今後の過ごし方を含めた話を時間をかけて行い、ヘルパー

の活用や利用日数調整を行うなど、心身ともに無理のない範囲でのサービス利用ができるようにした。

休憩室の毛布やタオルを季節ごとに交換し、保清への意識強化を行った。

(5) 主体的に活動できる場づくり～社会参加の一環～

コロナ禍の継続により、土曜日開所は1年を通して中止となった。しかし、短時間、黙食を心がけることで、一部行事は平日の午後を利用し行うなど、感染状況も踏まえながら少しずつレクリエーション活動再開に向けた模索も行った。グループ調理では、自宅でも自分自身で作れるものを意識し、完成までの工程を一人で挑戦してもらうなどを意識した活動にも力を入れた。

施設外作業で、納品の電話をしたり、作業の最初から最後まで責任をもって行うように支援を行った。また、3～4人のグループの中でリーダー業務を任せ、準備や配置などを考えてもらうことで全体の流れを把握できるよう工夫を行った。

【就労定着支援事業】

契約者：3名（1名2月に契約期間満了にて利用終了）

利用延人数：36名

就労継続率：～1年 100% 1～2年 54% 2～3年 54%

※3年以上の勤務継続で職場への定着した率は36%

月1回の企業訪問を基本に、利用者ご本人の就労及び生活での困りごとや目標の確認、雇用先との面談を行い、継続した就労につなげることができるよう双方の思いを聞きながら作業方法の提案や日常生活の提案を行った。

定期的に関係機関集まってケース会議を開催し、情報共有に努めた。

【共同生活援助（グループホーム）・短期入所（ショートステイ）事業】

① 共同生活援助（令和2年6月1日事業開始）

契約者：5名

利用延人数：1,539人（2年度：1,005人）

一日平均利用者数：4.2人（2年度：3.3人）

昨年4月からは夜勤での支援はなく、緊急電話での夜間支援対応となった。年間で夜間の緊急電話への連絡は3件で、いずれも機器のトラブルやケンカの解決法の相談であり、電話での対応で完了。入居者同士で協力し合い良好な生活環境となっている。また、11月に1名入居者が増え、入居者は5名となった。年齢層は20代から50代、就労者・福祉サービス利用者が利用し、個々の特性や能力に合わせにくいところをサポートし、おおむね生活に必要なことは自分でできる環境となっている。

コロナ禍で地域行事への参加や交流はなかったが、地域住民からの問い合わせや苦情もなく、落ち着いた生活環境を整えることができたと思われる。

② 短期入所（令和2年6月1日事業開始）

契約者：11名

利用延人数：200人（2年度：234人）

短期入所の利用希望契約者は精神障がいの方が多く、予約をするものの、環境の変化や季節の変化に弱く当日になり利用キャンセルの連絡があるなど、安定した利用につながりにくい状況が続いている。また、入居とは違い単発での外部からの利用のため、感染予防のため利用を控える方などもあり、利用人数は週に2人のペースとなった。

（6）地域への啓発活動

①「そよかぜねっと通信」の発行・配布

本年度は年2回（4・11月）発行。精神障がい者の医療・福祉をめぐる情勢を伝えるとともに、精神障がい者への理解・啓発に努めた。

②「やすらぎニュース」の発行・配布

本年度は年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）発行。事業所の様子や内職・施設外作業先の様子など活動を中心に紹介を行った。

③ホームページの運用

ホームページをリニューアルし、福祉サービスごとに確認できるように編集をおこなった。

（7）メンバー・家族への情報提供、啓発活動

コロナ感染予防のため、今年度も事業所主催の家族勉強会の開催は延期となった。外部の研修では、家族会が主催の勉強会の開催案内を行うなどの情報提供を行った。

（8）感染症対策について

感染状況は落ち着いてきたが、まだまだ安心ができない状況が続いているため、体温計測、マスクの着用、パーテーションの活用、手指消毒を徹底し、感染防止対策に努めた。

（9）支援のための体制づくり

① 職員体制の確立及び充実

ア) 就労継続支援・就労定着支援 職員の配置状況（3/31現在）

管理者	1名（共同生活援助管理者兼務）北上
サービス管理責任者	1名 犬飼
職業指導員	1名（就労定着支援員兼務）井上
目標工賃達成指導員	1名 占部
生活支援員	2名（常勤1名 非常勤1名）藤田 岡嶋
就労定着支援員	1名（職業指導員兼務）井上

イ) 共同生活援助 職員の配置状況（3/31現在）

管理者	1名（就労継続支援管理者兼務）北上
-----	-------------------

サービス管理責任者 1名（生活支援員兼務）柴田
 生活支援員 1名（サービス管理責任者兼務）柴田
 世話人 4名（常勤換算 1.3名）中井、佐々木、小林、増田

ウ) 異動状況

退職：1/31 世話人 瀬戸

採用：なし

② 職員研修報告

研修内容	主催者	人数
兵家連メンタルヘルスセミナー2021	兵家連	4
障がい者の働く場パワーアップフォーラム	公益財団法人ヤマト福祉財団	1
2021年度障害者虐待対応力向上研修	一般社団法人兵庫県社会福祉士会	2
就業支援基礎研修	兵庫障害者職業センター	1
福祉サービス向上オンライン研修	はりま総合福祉評価センター	1
吉川地区福祉委員連絡会 地域研修会	三木市社会福祉協議会	1
令和3年度サービス管理責任者更新研修	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団	1
2021年度兵庫県社会就労センター協議会研修会	兵庫県社会就労センター協議会	1
障がい者雇用支援の基本を学ぶセミナー	大阪障害者雇用支援ネットワーク	1
令和3年度障がい者の生涯学習支援者研修会	「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム事務局	1
令和3年度こころの病家族教室	ほのぼの会・ひょうかれん	3

今年度も職種ごとの目標を定め、積極的に研修への申し込み・参加準備を行った。少しずつ外部研修の開催も戻ってくるとともに、オンラインでの研修の形も増えてきて、研修参加の選択の幅が広がったと感じる。訪問型・オンライン型どちらでも、積極的に知識向上に向け今後も研鑽に努めていく。

(10) ボランティアの受け入れ

やすらぎ工房内の作業・各種行事支援の為に、延べ109人のボランティアを受け入れ。

3. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者総合支援法に基づく	就労継続支援B型事業所「や	月～金 9:00～	法人施設	7名	三木市及び周辺地域で在宅	53,526

障害福祉サービス事業	すらぎ工房」の運営	17:00			生活をする精神障がい者等 延べ 4,320 人
	就労定着支援事業の運営	月～金 15:00～ 17:00	法人施設 契約者宅 企業	3名	就労定着支援を利用する対象者及び就労先企業の担当者 延べ 36 人
	共同生活援助事業所・短期入所事業所「そよかぜはうす」の運営	月～日 7:00～ 20:00	法人施設	6名	共同生活援助及び短期入所事業を利用する対象者 延べ 1,739 人
精神保健福祉等に関する啓発事業	法人機関紙並びに広報誌の発行	年8回	法人施設	10名	地域住民及び市民、関係機関 延べ 1,000 人
精神障がい者等と地域住民との交流事業	バザー・地域イベントへの参加	年0回	法人施設 地域	0名	地域で生活する精神障害者等 延べ 0 人